

織維業部会活動報告

「織維見本市の報告」

- 「ジャパン・クリエーション2024」
- 日程：10月31日（火）
- 11月1日（水）
- 会場：東京国際フォーラム

10月31日～11月1日の2日間、東京国際フォーラムで開催された日本最大の織維総合見本市「ジャパン・クリエーション2024」に織維業部会／「テクシる」として、昨年に引き続き3回目の出展をしました。昨年に続き「テクシる」開発品「NEO能登上布」に加え、能登野菜である金糸瓜、青かぶの他、大麦を原料に試作した生地や製品（かばん）を出展しました。



来場者にNEO能登上布の説明をする部会員



ジャパン・クリエーションに参加された皆さん

SDGS、サステイナビリティへの取り組みが織維・アパレル業界では重視されており、私たちの取り組み、展示は来場者の関心を大いに集め、多くの方に出展ブースへ訪れていただくことができました。これにより、「織物のまち中能登町」としての情報発信、PRが出来たものと思っております。

今回の出展の経験を活かし、今後也更なる生地、製品の試作開発、及び販路開拓に取り組んでいきます。



能登野菜を使った製品の数々



サービス部会活動報告

サービス部会視察研修会

東京研修を実施！

11月1日（水）～2日（木）にかけて東京での視察研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症は、感染症法上では5類に移行し、インフルエンザと同様な取り扱いに変わったことからインバウンド需要も回復し、多くの外国人が東京へ訪れています。特に浅草周辺や東京スカイツリーは人気観光スポットとなっており、実地調査を含め今回訪問しました。

金沢でも同様の事が言えますが、実際に多くの外国人が日本を訪れ、インバウンドの状況をつぶさに見ることができました。平成30年10月より築地市場の代替施設として建設された豊洲市場では、東京という巨大な市場を支える市場としてその機能などを見ることができました。



ジャパンモビリティショーで大型トラックを見学する参加者の皆さん

ジャパンモビリティショーでは、従来のモーターショーから自動車に限らず移動手段、モビリティとして開催されたイベントに変わり、そのことから多くの人に注目されていました。そのことが来場者増となり実感できると共にモビリティとしての未来の姿を垣間見ることができました。

最後に日本の政治の中核である国会議事堂を見学しました。今回は参議院を視察し、参議院議場、中央広間、御休所（天皇陛下が休まれる部屋）などを見ることができました。国会議事堂は、国会中継などで頻繁に見ることはできませんが、実際に訪れると建築様式や部屋の木の匂い、雰囲気などを感じることで、き何か趣きのような物を感じることができるともよかったです。

また、宮本周司参議院議員の東京事務所にも訪問し、本人との懇談もすることができました。

二日間とても有意義な研修会をすることができ、学びの多かったことをご報告申し上げます。



国会議事堂正面にて